

## 患者さんおよび当院職員の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について （第6報）

11月14日（土）に院内で確認された新型コロナウイルス感染症について、感染拡大防止に努めながら、感染経路や範囲等について調査を進めてまいりました。本件の概要と感染の収束についてご報告いたします。

### 1. 概要

- ・ 11月14日（土）に、COVID-19以外の診断で入院中の患者さんが発熱（既に3週間ほど入院中の方）。
  - ・ X線で「肺炎像」が確認されたため、念のため新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の抗原検査を実施したところ「陽性」が判明。PCR検査でも「陽性」が確認されたためCOVID-19と確定診断しました。
  - ・ 同室患者3名に対してPCR検査を実施し、2名の「陽性」が判明しました。
  - ・ 感染リスクのある接触患者6名に対してPCR検査を実施し、全員の「陰性」を確認しましたが、同室の時期があった患者については、今後の発症リスクがあると判断し、COVID-19としての感染対策を行いながら健康観察を継続しました。
  - ・ 初発患者の同定や感染源（院外からの持ち込みもしくは職員からの感染など）の判断が困難であったため、感染範囲の確認およびリスク評価のため、北部保健所の協力を得て広範囲に行政検査を実施する方針としました。
  - ・ 同じ病棟の患者、職員、発症者3名と接触のあった職員に対して、PCR検査(行政検査)を実施しました。
  - ・ 行政検査の結果、職員より2名の陽性確認。2名は無症状かつ血液検査や胸部X線で異常をみとめなかったため、無症候性感染者としてホテル療養による健康観察となりました。
  - ・ 陽性となった職員1名と濃厚接触のあった職員3名に対してPCR検査を実施し「陰性」を確認。この3名は濃厚接触者として就業制限（自宅待機による健康観察）を行いました。その後無症状で経過し、後日再度PCR検査を行い、「陰性」を確認してから就業制限を解除しました。
  - ・ 職員のうち、初回のPCR検査は「陰性」であったものの、その後体調不良を訴えた者等に追加でPCR検査を実施しましたが、すべて「陰性」を確認しました。
  - ・ 最初の発症者3名と同室の時期があり、初回のPCR検査が「陰性」で健康観察を継続していた患者に対して、1週間後に再度PCR検査を行い、「陰性」を確認しました。
- これをもって、今回の感染は収束したと判断し、すべての制限を解除しました。

- ・最終的に、当該病棟で発生したCOVID-19患者は、同室患者3名(有症状)、職員2名(無症状)の計5名と判断しました。
- ・陽性者の発生状況、感染対策の状況、患者の転帰等については、遅滞なく北部保健所や沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部へ報告しております。

## 2. 感染源について

- ・感染源を同定することはできませんでした。
- ・かなり範囲を拡大して行政検査を行いました。患者3名(同室者)、職員2名(患者と接触あり)以外には感染が確認されなかったため、気付かないうちに病院内で感染が蔓延していたということはありませんでした。
- ・発症患者3名はいずれも他疾患で入院し、かつ入院時にはCOVID-19に関連する検査は行っていないため、入院の時点で感染があったかどうかは不明です(確認した範囲では、ご家族や入所施設などでCOVID-19が発生した事実はありませんでした)。
- ・PCR陽性の職員2名は本件の発症患者と接する機会がありましたが、それ以外にはCOVID-19患者と接した機会はなく、業務中は常にマスクを着用しておりました。なお、患者さんは3名ともマスクは未着用もしくは不十分な着用状況でした。

この度は患者さんやご家族のみなさん、地域の方々に大変なご心配とご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

2020年12月11日  
北部地区医師会病院  
院長 諸喜田 林